



# SSKW すてっぷ だより

No.81



編集 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会

〒379-2164 群馬県前橋市東上野町136番地1

TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 <https://s-step.com> contact@s-step.com

平素はすてっぷ後援会の活動にご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。

昨年度は、家族交流会を開催させて頂き、今後の後援会の在り方について、家族同士の情報共有の場として貴重な時間を頂きありがとうございました。家族会という新しい体制に移行するにはまだ時間もかかりますが、今後も定期的に話し合いの場を持ちながら皆様の意見を参考にして進めて行きたいと考えております。

また、後援会活動においては、新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止となっておりましたが、今年度はまず地域の方との交流の場として10月14日(土)に「すてっぷ祭り」を開催したいと考えております。利用者さん同士やご家族も事業所を越えて交流できる機会となればと思います。

今後も皆さまのご協力の下、後援会として「すてっぷ」を応援して行きたいと思いまので宜しくお願い致します。

すてっぷ後援会会長 清宮聖子



いつも社会福祉法人すてっぷにご支援をいただき、ありがとうございます。毎年度後援会の皆様から貴重なご寄附をいただき、定められた報酬では賄えない事業や支出ができています。2022年度にも60万円のご寄附をいただきました。コロナ対策で追加した高性能空気清浄機やクラスター発生時に24時間陽性者対応をするための職員経費等に充てることができました。

コロナ禍にあった3年間、それぞれの部署ではサービスの質を下げないよう、事業を継続することに必死でした。特に昨年度には、すてっぷとして初めてのクラスター対応が必要となり、療養する利用者と職員にはできるだけ不安のないように対応し、感染していない方々への予防対策も最大限苦心して対応しました。新型コロナ対応についてはマニュアルを作ったり専門の医療機関に研修をしてもらったりと様々な備えをしていましたが、実際に対応する時には職員のマンパワーが全てだと感じました。物品の調達、医療との連絡、直接の介護や健康管理、どの職員も自分のできることを考え、最善を尽くしてくれました。

すてっぷの職員は「愛をもって、一人ひとりにプロのサービスを」というモットーとクレド(理念)を名札の中に入れて毎日仕事をしています。2023年度は『すてっぷ』らしく様々なチャレンジと創意工夫によって、利用者皆様のいきいきした笑顔がたくさん見られる一年にしたいと思っています。引き続き、応援の程よろしくお願いします。

理事長 坂柳幸子

## 新入職員紹介



Kid's Club  
樋口 梓 (5月入職)

5月から Kid's Club の配属となりました樋口梓と申します。  
長年、保育の仕事に携わってきましたが、すべてのHPを見て子供たちがいきいきと遊ぶ姿に魅力を感じて「ここで働きたい!」と思いました。

毎日、元気な子供たちと走り回って楽しく過ごしています。  
一緒に笑ったり、喜んだり、気持ちを共有しながら遊びを通して関わりを深めていきたいです。一生懸命がんばります。  
よろしくお願いいたします。

### ●わーくはうすすてっぷ

ぜひご利用を!

わーくはうすすてっぷは、就労B型事業（定員20名）と生活介護事業（定員10名）の多機能事業所です。今年度は、利用者31名スタッフ21名（給食担当、送迎担当を含む）でスタートしました。就労活動として、どんな仕事をしているのか紹介します。

#### ①国産小麦100%のパン製造販売

ベーカリーカフェすてっぷ店舗での販売の他に市内の老人センターや注文をいただいた職場に配達をしています。



#### ②手織りの布を商品にした雑貨販売

利用者さんが丁寧に織りあげたものは色や柄が「世界に一つ」の商品です。



#### ③下請け軽作業

「平井商店」さん、「吉創庵」さん等のお仕事をいただいて毎日作業をしています。

#### ④アート活動

製作した「書」や「絵画」を額装したり、ポストカードにして販売しています。  
オリジナルの手ぬぐいやバッグになったりもします。

#### ⑤PCでのデータ入力や名刺印刷

迅速丁寧をモットーに心を込めてお届けします。

#### 名刺作成

■ご注文は電話・FAXで承ります。 ■新作成料金（1箇100枚入り）

		初版	再版
白黒	(片面)	1,200円	990円
	(両面)	1,980円	1,320円
カラー	(片面)	2,140円	1,650円
	(カラー/白黒)	2,750円	1,980円
	(カラー/カラー)	3,400円	2,850円

## ●ワークセンターまえばし

ワークセンターでは個性豊かな職員6名で障害者の「働く」「楽しむ」を支援しております。

本年度から本格的に余暇支援を再開することが出来ました。4月から毎月一回、一年間で12回のイベントを予定しております。4月にはアニメーション映画の上映会を行いました。5月には「洋風のお弁当を作ろう」を実施しました。前橋市内のクッキングスクールの先生が講師となり調理実習を行いました。特に調味料調合の場面では大さじ小さじを使い分け、微妙なさじ加減をグループ内で協力し合い、助け合い、笑い合いながら本格的なフレンチトーストを焼き上げることが出来ました！

今年もワークセンター職員がチーム一丸となり全力で、「働く」「楽しむ」を支援させていただきます！！



「美味しいフレンチトースト」

## ●前橋市障害者生活支援センター

「相談して良かった気持ち」や「ネットワーク」を大切に



前橋市障害者生活支援センターは、前橋市より委託を受け、現在4名のスタッフで約250名の障がいのある方やそのご家族への相談支援を日々提供しています。

相談内容は、抱える悩みを一緒に考え、必要な福祉サービス利用へつなげたり、手帳の申請のお手伝いや日常生活で困っていることの改善、不安な気持ちの解消といったさまざまな支援を必要に応じて病院や福祉施設、行政窓口等、ご本人に関わる様々な機関と協力して行っています。最近では、児童発達支援事業所が増えたことから未就学児の家族からの福祉サービス利用の相談が多くなっています。

また、個別相談の中で既存の福祉サービスだけでは解決できない課題も多く、前橋市自立支援協議会における定例会議、専門部会などを通じて検討し、仕組みを作っていくことも役割となっています。

### <センター内で大切にしていること>

- ・「自分の気持ちや話を聞いてもらいたい」という思いを大切に！
- ・横のつながり/ネットワークを構築し、情報共有しながら本人にとって最善の支援が提供できるように行政や病院など関係機関と連携し目的を共有しながら支援を行うこと。
- ・1つのケースでも相談者の思いを実現するために、職員全員で協力し、助け合いができるチームづくり。

## ●サンサンすてっぷ

皆さんの暮らしに身近なものとなりつつある「SDGs」目標。

群馬県の福祉事業のひとつに「車いすリサイクル事業」というものがあります。県内3施設が窓口となり、不要になった車いす、バギーを回収し、必要とする児童に譲渡や貸与を行っています。

サンサンすてっぷでは各施設から相談があった際には、一度役目を終えた道具が再び安全に使用できるよう点検、修理、整備をさせて頂いています。こうして車いすやバギーは新たなパートナーとの生活をはじめます。

利用者さんから古くなったり、サイズが合わなくなったりした道具の処分は思い出が沢山つまっているので気が引ける、とよく伺うことがあります。「リサイクル事業」はこのような気持ちにも応えてくれています。



## ●ヘルペーステーションすてっぷ

メゾンすてっぷ入居者の家事援助、グループホーム利用者の身体介護と外出支援、ご家族と地域生活をされている方の外出支援。これらの三本柱で運営しています。支援者の人員が慢性的に不足している状態で、法人内の職員に協力してもらいながら、何とか支援ができている状態です。生活の支援、外出の支援に興味のある方は、ぜひ、法人本部までご一報ください。

## ●サービスステーションすてっぷ

コロナ禍で、障害者支援施設（入所施設）での宿泊利用や日帰り利用が使いづらくなっていると耳にします。日中活動場所が新型コロナの感染拡大で閉鎖して家にいるのよ。何とかしてほしい。とも聞きました。



そんな時、どうしてもの用事の時に、家庭での介護が大変な時に、感染の危険を顧みず、サービス提供を続けてきたのが『チーム・サービスすてっぷ』です。

新型コロナの対応はどんどん緩和されていますが、注意深く感染対策を続けながら、コロナ禍前の生活に戻れるように支援ていきます。

## ●Kid's Club

Kid's Club 近くの寺沢川は子供達の絶好の遊び場です。

この川には鯉や亀、ドジョウ、エビ等様々な生き物が生息しています。時にはヤツメウナギやカワセミ等珍しい生き物に出会うこともあります。

今年度になって初めての川遊びに出かけました。4月から通所が始まった1年生は年上のメンバーが楽しく遊ぶ姿を見て、「やってみよう!」と思ったようで川に入って行く事ができました。

子供達が網を川の中にガサッ!と入れてザブザブっと水にさらすとヨシノボリやスジエビ、ヌマエビが入りました!「スゴイ!」と言っている間に他の子供の網にはザリガニ!スタッフの網にはヤツメウナギが!皆で大興奮の時間になりました。



ヤツメウナギ、元気だね



子供達は色々な生き物との出会いから小さな命の大切さを学び、観察した後はちゃんと川に返してあげる事も知っています。色々な角度から感性を育んでくれる自然遊びは最高の遊び場です。まだまだ自然との遊びは無限大です。

「子供達の『やってみたい!』思いを実現しよう!」を合言葉に子供達が大満足のKid's Clubを目指します!

## ●Little Kid's Club

毎年、わーくはうすの庭に小さな赤い実が実ります。

「6月になる果実」を意味してジュンベリー。子供達とこの実を採って食べるのがこの時期のお楽しみ。今年も赤い実が沢山なりました!スタッフが「美味しいかな?」と言って食べて見せると、初めて見る子は「え? 食べていいの?」「お腹痛くならないかな?」ママの顔が浮かんでいるような表情で不思議そうにスタッフの顔を覗き込みました。

手を伸ばして~触った感じ、甘酸っぱい匂い、少し手が赤くなる・・・そしてパク!

「ん?美味しいかも!」その後は美味しいそうな色を上手に

見分けながらパクパク食べていました。



お部屋で遊ぶおもちゃも楽しいんですけど(\*^\_^\*)自然物で五感を使って遊ぶと表現力、想像力の他に危機管理能力も育つそうです。次の日、おやつにホットケーキを作ると「あ! そうだ!」と言ってジュンベリーを探りに行きトッピングしてくれた子もました。

今年度も子供達に面白い! 楽しかった! の経験を沢山させてあげられる Little Kid's であります。

毎年楽しませて貰えてありがとうございます♡ ジュンベリー♡

## ●社会就労センターぴいす

### DX化推進

世の中様々な所でDX化(簡単に言うとデジタル技術を使って便利にすることです)が進み便利になっていますが、すでに職員の勤怠管理をQRコード打刻のアプリで行ったり、給与明細をメール配信にする等DX化を進め、業務の効率化と職員の利便性向上を図っています。

しかし、利用者さんに関しては工賃を現金支給から口座振替に変えた上で、まだまだ昔ながらのやり方が続いています。ぴいすでは5月から利用者の勤怠管理を紙のタイムカードをタイムレコーダーにガチャンと打刻する方法から、タブレット端末の画面タッチで出退勤打刻ができるアプリを利用するようになりました。

予め登録されている自分の顔写真をタッチすると写真が撮られて出勤になります。帰りも自分の顔写真をタッチして退勤になります。紙のタイムカードでは間違って他人の打刻をしてしまうこともありました。それもなくなりました。利用者さんからは「こういうのがやりたかった!早くしてくれたら良かったのに!」という声もありました。

今後も出来るところからDX化を進めて、職員も利用者さんもご家族も便利になるようにしていきます。



## ●とらっぱ



スクイジーを使って  
窓掃除

週1回、3月にオープンした道の駅まえばし赤城にある「SHOP CAFE Qu」の清掃を行っています。日常の掃除では手の届きにくい窓や店内の細かな汚れを落としています。お店を綺麗にすることでお客様が快適に過ごせる空間づくりに貢献できるよう頑張っています。

とらっぱから20分ほどの距離にできたこの道の駅に、4グループに分かれて見学に行ってきました。平日でもたくさんの人に行き交うなか、「Qu」を中心に散策。短い滞在時間でしたが、小旅行のような気分を味わいました。

5月下旬、総合福祉会館のバス停前の空きスペースに新しく花壇を作りました。雑草や小石だらけで荒れていた場所を一から整備して花壇が完成しました。植える花も利用者さんの意見を取り入れ決めました。夏には大きなヒマワリが咲く予定です。

ぜひ、花壇の成長を楽しみにしてください。



「Qu」でコーヒーを注文



土に栄養を混ぜ込んで  
います。

## ●れいんぼうかんぱに

### アート活動報告

れいんぼうでは毎週木曜日のアートの時間に、ゆったりBGMをかけながら、それぞれが描きたい絵や書をかいたり、決められたテーマのもとで作品づくりをしたりしています。月に1回はアートサポーターの佐々木さんが長野から訪れ、楽しく、やさしく、わくわくと、みんなの感性や才能をぐーんと引き出してくれています。

そして、この5月に、佐々木さん自ら額装した絵が、住吉町の『ワンダーフォーゲル』という‘インテリアと雑貨のお店’で展示販売されています。描いたご本人達も他の商品と一緒に並んでおかれている様子を見て、「うわーっ！」と大満足。

佐々木さんは、「街なかのお店に置いてもらってみんなにもっと見てもらえるといいなと思って。」と、色々なところに広げてくれています。

ぜひ、お店に足を運んでみて下さい。



『ワンダーフォーゲル』  
前橋市住吉町 1-3-13  
定休日：火曜日/日曜日



「これ、描きました。」



大判の絵。  
売約済みです。

ご寄付ありがとうございます

鈴木基司様 戸丸史郎様 匿名希望の方1名

後援会費納入ありがとうございます

【2023年度分】

武井宏純様 羽鳥淑子様 赤井眞佐子様 奥泉雅夫・浩子様 佐藤正弘・かよ子様  
島田良子様 城田佳子様 鈴木良昭様 関 健鑑様 善方明子様 萩原尚樹様  
平井恵治様 滝澤俊幸様 高柳勝巳様 河合俊一様 小山陽二様 茂木勝美様  
戸丸史郎様 神保伸子様 若林俊二様 宝田好夫様 中嶋新吉様 今野光雄・みや子様  
竹内和子様 長谷川恒子様 瀧澤久仁子様 佐藤佐智子様 中澤康子様 坂柳健司様  
中津山俊輔様 河内那保子様 清水澄治様 (株)バ'イソラソス様 田中学様 石倉利治様  
前川宏様 中川葉子様 中島初江様 糸井徹様 櫻井俊輔様 神澤智恵子様 戸所清様  
大谷久子様 海老沼良矩様

【2022年度分】

北澤靜乃様 小池光男様 斎藤直子様 神宮宏和・由美子様 綿貫由美子様 飯田恭平様  
大熊昭二様 大畠良美様 相川幸治様 細谷和利様 朱媛媛様 杉田真弓様 女屋きみ江様  
海老原篤様 黒沢巻雄様

☆2023年度後援会費の納入方法☆

後援会費 個人会員 3,000円~ (1口3,000円以上)

団体会員 10,000円~ (1口10,000円以上)

上記の会費を直接後援会事務局(法人本部)へお持ちいただき、同封の振込用紙にて  
お振込みください。

口座番号 00120-4-192242

加入者名 「すてっぷ後援会」

※発送作業簡素化のため、郵便振替用紙は全員の方に同封しています。すでにご入金の方はご了承ください。  
※原則として、郵便局で受け取る振込受領票の写しをもって領収書にかえさせていただきます。

特に受領書が必要な方、及び「匿名希望」の方はその旨を通信欄にその都度お書き込みくださいよう、よろしくお願ひいたします。

----- すてっぷへの寄附は控除対象です -----

社会福祉法人すてっぷは、租税特別措置法における要件を満たしていますので寄附金額は税金の控除対象と  
なります。寄附をいただく際には寄附申込書の記入をいただき、控除対象寄附金受領証明書を発行しています。

発行人 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

編集人 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会 〒379-2164 群馬県前橋市東上野町136-1

Tel 027-290-6161 Fax 027-290-6162 <https://s-step.com> e-mail [contact@s-step.com](mailto:contact@s-step.com)  
定価 100円(会費に含まれる)